

『優しさと勇気の育て方』

(水谷 修、日本評論社、2017.1)

著者は、「夜回り先生」で有名な水谷氏。子供への愛情あふれる言葉が随所に出てきます。子供へのメッセージもありますが、我々大人が読んでも元気が出ます。

- 考えてみてください。もし、家族が笑顔と優しさに包まれたら、どれだけ多くの子どもたちがそこに癒しと憩いを得ることができるか。職場や学校が笑顔と優しさに包まれたら一日がどんなに美しいものになるか。町が笑顔と優しさに包まれたら、どれだけ多くの人がある一日を幸せに過ごすことができるようになるか。
- 今夜、「今日も一日、よく頑張ったね」と自分をほめよう。
- 今夜は、今の自分、そのままの自分に「いいんだよ」と言ってから、眠りにつこう。
- 親から愛されている自覚のある子どもは、いじめられても親や先生に相談できる。夜の遊びや薬物の誘いも拒否できる。